

愛知県山岳連盟 第7回常任理事会資料

第24回遭難を考える会(講演会)

題目「新型コロナウイルス禍での山岳ガイド活動」

日時 11月27日 19時～20時30分

方法 Web会議システムによるオンライン講演会、聴講希望者へ定型メールにてURLをメールで送信

講演 60分くらい、超過時間と質疑を考えてプラス30分、合計60分以内

講師 島田 和昭、株式会社 ナチュラルスタイル 島田ガイド事務所代表、

日本山岳ガイド協会山岳ガイドⅡ・スキーガイドⅡ、国立登山研修所講師、日本山岳レスキュー協会事務局長、同志社高校山岳部コーチ、同志社大学山岳部コーチ、神戸学院大学客員教授

以下、講演内容(事前に島田さんと相談した時の内容メモ)

新型コロナウイルス禍での山岳ガイド活動

1. 山岳ガイドとしての対応について(10分程)

- 1) 自己紹介(日本山岳ガイド協会特別委員会新型コロナ対策事業再生班、国立登山研修所講師、好日山荘アドバイザー、日本山岳レスキュー協会事務局長等)
- 2) 4月独自に感染症専門医、救急医、山小屋友好会会長、登山専門店、メーカーに状況確認 独自に対応策構築
- 3) 4-5月自粛と経済バランス、自助>共助>公助の順に構築し、2名の個人ガイド(クライミング)のみ業務維持
- 4) 5-6月共助(日本山岳4団体等)、公助(日本政府、兵庫県)の意向を汲みながら、自助範囲での業務維持
- 5) 7月より本格的にガイドを再開

2. 日本山岳ガイド協会としての対応推移、その中で話合ったことなど(50分)

- 1) 日本山岳4団体の自粛要請後、メーカー/登山店/山小屋の業績悪化の中、日本山岳ガイド協会において新型コロナ感染症対策事業再生班設置、その委員に任命、対応策をズーム会議にて協議
- 2) 登山者、登山店、メーカーにヒアリング>意見統合の結果、「登山文化の維持、登山業界の維持」のために、登山者ひとりひとりが予防と対策を理解し、自助での登山活動ができるように「新型コロナ対策マニュアル」(ガイド協会の身内用)を作成>一般登山愛好者向けに「これからの山登りーみんなで学ぶ安全登山」ビデオを作成し配信

この中で特に注意して話し合われたことについてお話しします

- 3) 自粛する登山者(ガイド)と活動を維持する登山者(ガイド)の考え方と立場の違い
- 4) プロ組織としてガイド協会がすべき事はなにか
- 5) 医師の立場や分野、考え方の違いにより新型コロナに対しての対応策をまとめる事への苦慮
- 6) 手指洗いやアルコール消毒について、消毒専門会社や病院と一般人の理解の大きな差
- 7) マスクと手製のマスクや手ぬぐいの感染防止効果の違い、手袋やメガネの効果や使用法への理解の深化
- 8) 日本山岳レスキュー協会として山岳救助隊をもつ主要な警察消防に救助体制を確認した内容

愛知県山岳連盟 第24回遭難を考える講演会

新型コロナウイルス禍での登山ガイド活動

講師: 島田 和昭 氏



(日本山岳ガイド協会公認ガイド)

2020年11月27日(金)19:00~20:30

Web会議システムによるオンライン講演会

参加費 無料

聴講希望者には、講演会にアクセスするためのURLを送りますので、以下に、a) 氏名、b) 所属、c) 返信メールアドレスを明記の上、お申し

込みください。 aichiken_gakuren@yahoo.co.jp

概要: 外出自粛要請など登山者や登山に関係する方々の業績悪化の中、日本山岳ガイド協会から新型コロナウイルス感染症拡大防止に対策した山岳ガイドとしての活動のガイドライン策定、一般登山愛好家への動画「これからの山登りーみんなで学ぶ安全登山」 <https://youtu.be/uV9gC4xU50o> を作成し、配信中である。新しい生活様式を求められる新型コロナウイルス禍において、どのようにして従来の安全登山に加えて、感染症防止に努めるかを一緒に考えてみましょう。

講師紹介:

(株)ナチュラルスタイル 島田ガイド事務所代表、
日本山岳ガイド協会山岳ガイドII・スキーガイドII、
国立登山研修所講師、日本山岳レスキュー協会
事務局長、同志社高校山岳部/同大学山岳部コ
ーチ、神戸学院大学客員教授

